

追分アサヒメロン初競り

今年も最高値 1箱 15万円



札幌市中央市場 卸売市場

安平町追分地区の特産品「追分アサヒメロン」の初競りが10日朝、札幌市中央卸売市場であった。追分アサヒメロン組合の林出一樹さん(42)、稲井義勝さん(39)、二又哲雄さん(79)の3人が生産した4〜8玉入りの計25箱(1箱8び)を初上場。最高値は1箱5玉入りの「秀」に前年同様15万円が付いた。

前年より1日早い9日に初出荷。前年は今年の2・5倍ほどとなる63箱を初出荷し、平均単価が下落したが、今年は1玉当たり4925円と、前年の2226円を大幅に上回った。

9日は初出荷に当たり、町内の野菜集出荷場でセレモニ1。同組合の佐藤信一組合長

初出荷のアサヒメロンの品質を調査する関係者

は「記録的に雪が少なく、雪解けも早く進んだが、思いの外冷え込みが厳しく、風も強いなど極端な天候の中で大変な苦労をしたと思う。田舎のきめ細やかな温度管理や高い技術力、経験で今年も良いメロンが出荷できた。組合員一丸となっておいしいメロンを作れるように努力していきたい」となごみあいさつした。

安平町の滝孝町長は意欲的な新規就農者などに触れなが

ら「これからも誇りと自信を持ってアサヒメロンを継承して」と呼び掛け。とまごまい広域農協の秋永徹代表理事組合長は「メロン組合が良い結果で終われるように祈念しています」と述べた。

今年組合員の24戸と安平町実践農場研修生の2戸で約30箱を作付け。3品種を10月まで出荷する予定で、生産数量は6万3000ケース、販売金額は2億5200万円を目標としている。